

以下の6つ設問から5つを選んで回答せよ。

1 再帰動作トレース (20)

```
int find( struct List* p , int key ) {
    for( ; p != NULL ; p = p->next ) {
        printf( "%d-%d\n" , p->data , key ) ;
        ~~~~~(A) ~~~~~
        if ( p->data == key )
            return 1 ;
    }
    return 0 ;
}

int set_uniq( struct List* p ) {
    if ( p == NULL )
        return 1 ;
    else if ( find( p->next , p->data ) )
        return 0 ;
    else
        return set_uniq( p->next ) ;
}

void main() {
    struct List* top = cons( 1, cons( 2, cons( 3, cons( 3, NULL ) ) ) ) ;
    if ( !set_uniq( top ) )
        printf( "uniq\n" ) ;
}

struct List {
    int data ;
    struct List* next ;
} ;

struct List* cons( int x, struct List* n ) {
    struct List* ans =
        (struct List*)malloc( sizeof(struct List) ) ;
    if ( ans != NULL ) {
        ans->data = x ;
        ans->next = n ;
    }
    return ans ;
}

-----[設問]-----
このリスト処理のプログラムで、
表示される内容を答えよ。(3x6+2)
-----
```

2-1
3-1
3-1
3-2
3-2
3-3
not-uniq

2 説明問題 (20)

- 2進数を用いた集合計算をするための方法を説明せよ。集合の要素は0~30までの整数とし、 $A=\{1,2,3\}, B=\{3,5,7,9\}$ で、 $A \cap B, A \cup B$ をどのように計算するか、具体的な値を交えて説明せよ。(12)
- 上記の計算方法で、差集合 $A - B = \{1,2\}$ の計算方法を説明せよ。(8)

(1) 変数を2進数とした際の各桁のbitを、
集合に含まれる=1,含まれない=0として、
30, ..., 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0 の各bitに対応付ける。
この場合、
 $A = 00,0000,0110)_2 = \{1,2,3\}$
 $B = 10,1010,1000)_2 = \{3,5,7,9\}$
集合積 $A \cap B$ は、 $A \& B$
集合和 $A \cup B$ は、 $A | B$ で表せる。
$A \& B, A | B$ のbit列が示してあればさらに良い。

(2) 集合差は、Bを含んではいけないので
 $A \cap \neg B$ (A and (not B))
C言語の2進数演算であれば、
 $A \& \sim B$
で計算すればいい。

3 データイメージ図 (20)

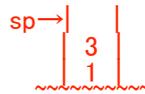
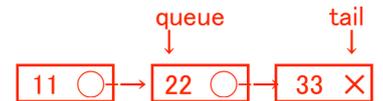
以下のようなプログラムを作成した。設問に答えよ。

```

int stack[ 100 ] ;      | struct List* queue = NULL ;
int* sp = stack ;      | struct List** tail = &queue ;
                        | ~~~~~(A)
void push( int x ) {   | void put( int x ) {
    * sp = x ;         |     *tail = cons( x , NULL ) ;
    ~~~(B)             |     tail = &( (*tail)->next ) ;
    sp++ ;             | }
}                       | ~~~~~(C)
int pop() {            | int get() {
    sp-- ;             |     struct List* d = queue ;
    return *sp ;      |     int ans = d->data ;
}                       |     queue = queue->next ;
                        |     ~~~~~(E)
                        |     free( d ) ;
                        |     return ans ;
void main() {          | }
    push( 1 ) ;        |
    push( 2 ) ;        |
    printf( "%d\n" , pop() ) ; /* (F) */
    push( 3 ) ;        |
    put( 11 ) ;        |
    put( 22 ) ;        |
    printf( "%d\n" , get() ) ; /* (G) */
    put( 33 ) ;        |
}                       |
                        |
[1]      (F) 2      (G) 11      (E) List *
    
```

間違った解答では、リストによるstackの図で説明していたり、リングバッファのqueueの図を書いていたり、プログラムのデータ構造を見ていない解答が目立った。

1. 行 (F),(G) の出力結果を答えよ。(2x2)
2. 下線部 (A) ~ (E) の型を答えよ。(2x5)
3. 下線 (H) の処理終了後のメモリの状態を図を用いて示せ。
図の解答は余白部に記入。(2x3)

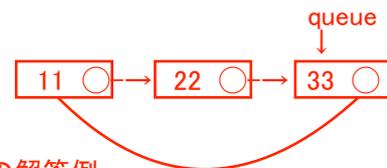


4 説明問題 (20)

1. 「配列は だがリストは である」といった対比した利点欠点を、2つ答えよ。(10)
2. 循環リストの構造と用途を、図や簡単な事例を交えて説明せよ。(10)

設問1 の解答例

- (1) 配列は、有限サイズだが、リストは、必要に応じて確保するため無限にサイズを伸ばすことができる。
- (2) 配列は、途中へのデータ挿入が、 $O(N)$ かかるが、リストは $O(1)$ で可能。
- (3) 配列は、 N 番目の取り出しが、 $O(1)$ だが、リストは、 $O(N)$
- (4) 配列は、プログラムが単純でわかりやすいが、リスト構造は複雑。



設問2 の解答例

待ち行列を実装する場合、先頭ポインタと末尾データのポインタを覚える代わりに末尾の next を NULL とせず、先頭を指すようにする。

プロセス待ち行列を扱う場合に利用される。

5 リスト処理の穴埋め

リスト構造を使った集合差を計算するプログラムを作りたい。以下の下線部を埋めよ。

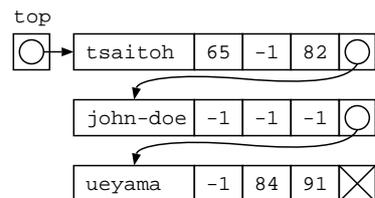
```
struct List* set_diff( struct List* a, struct List* b ) {  
    ~~~~~(A) ~~~~~(B) ~~~~~(C)  
    struct List* ans = NULL  
    ~~~~~(D)  
    for( ; a != NULL ; a = a->next ) { # a の全要素を試すループ  
    ~~~~~(E) ~~~~~(F)  
        struct List* p ;  
        for( p = b ; p != NULL ; p = p->next ) {  
            ~~~~~(G)  
            if ( a->data == p->data ) # a->data が b に含まれるか?  
                ~~~~~(H)  
                break ;  
        }  
        if ( p == NULL ) # for( p.. ) が最後まで回った  
            ~~~~~(I) # つまり、b に含まれなかった  
            ans = cons( p->data, ans );  
    ~~~~~(J) # ans の先頭に、p-data を挿入  
    }  
    return ans ;  
}  
void main() {  
    struct List* a = cons( 1 , cons( 2 , cons( 3 , NULL ) ) ) ;  
    struct List* b = cons( 3 , cons( 5 , cons( 7 , NULL ) ) ) ;  
    print( set_diff( a , b ) ) ; // print() はリスト全要素表示関数  
}
```

6 課題理解確認 (20)

3 科目のテストの点数 (max100) と名前のデータをリスト構造で保存し、以下のような処理を行いたい。

各データ 1 人毎の最低点を求め、各人の最低点が全員の中で最低の人の名前を求めたい。ただし点数欄には、テストを受けなかった場合には-1 が保存されている。この例では、tsaitoh を返すこと。john-doe は全科目を受けていないので、該当しない。

次のような使い方をして、名前を表示できること。リストのデータを生成する処理は記述しなくてよい。



```
printf( "%s\n" , min_min_user( top ) ) ;  
  
struct NamePointList {  
    char name[ 20 ] ;  
    int point[ 3 ] ;  
    struct NamePointList* next ;  
};  
char* min_min_user( struct NamePointList* p ) {  
    struct NamePointList* pm = NULL ; // 最低データ  
    int min_point = 100 ; // 仮りの最低点  
    for( ; p != NULL ; p = p->next ) {  
        for( int i = 0 ; i < 3 ; i++ )  
            if ( p->point[ i ] >= 0  
                && p->point[ i ] < min_point ) {  
                pm = p ; // 最低データを保存  
                min_point = p->point[ i ] ; // 最低点の更新  
            }  
    }  
    if ( pm == NULL )  
        return NULL ; // 該当者なし  
    else  
        return pm->name ;  
}
```

JavaScript ユーザへの注意

- o char name ; // 1文字だけ?
- o 局所変数返しはダメ。
<https://www.ei.fukui-nct.ac.jp/2018/08/06/return-local-array/>